

- 深田委員長 ただいまより総務文教常任委員会を開会する。
当委員会に付託された議案は2件である。審査順序はお手元に配付の審査順表のとおり進めたいと思うが、御異議ないか。（異議なし）
議第57号「平成30年度焼津市一般会計補正予算（第3号）案」中、当委員会所管部分を議題とし、当局の説明を求める。
（当局説明）
- 深田委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。
- 川島委員 観光費についてお伺いいたします。誘客促進事業費、具体的な内容をもしわかかっていれば、こんなことをやっていかれるよということもあるものですから、どういう形で誘客を進めていくのか、具体的な説明をお願いします。
- 石原観光交流課長 今回、誘客促進事業につきましては、先ほどもちょっと申し上げましたが、少し観光客の減少が発生しているということで、お客様にたくさん見えていただくように、まず、1つは、雑誌等、旅行雑誌とか、旅の雑誌、そういったものに少し焼津の宣伝の広告を出そうかということが1点。
それから、もう一つは、インターネットでの誘客を図るように、少し黒潮温泉の特集ページなどをつくりまして、そちらから市内の各施設の予約サイトまでそのまま流れるような、そんな仕掛けをしていきたいというふうに思っております。
- 川島委員 観光協会との協力とかということは考えていないんですか。特に誘客という部分で、実際、観光協会では旅行会社とかいろんなところに訪問営業されていますけれども、そういったこともこれから当然必要になってくると思うんですけど、どうしても一方的な告知だけでは向こうの印象がわからないものですから、訪問することによって初めて先方が抱えている温泉のイメージもあると思うので、そういった活動も必要かなと思うんですけど、そういったところまでは、どんな状況でしょうか。
- 石原観光交流課長 観光協会と具体的にそういったお話は実は出てきていませんけれども、今、御提案いただきましたことについて、営業ということも含めまして、観光協会と少しまた御相談させていただければと思っております。
- 小柳津委員 熱海から契約して運んでくるというようなお話ですが、大体何リットルぐらい入るローリーを使うんですか。
- 石原観光交流課長 熱海につきましては、5月31日から熱海温泉を運搬しているわけですが、1日12トン、4トンと8トンのローリー車、それぞれ1台ずつで今運搬してございます。
- 深田委員長 副委員長、交代してください。
- 松島副委員長 委員長を交代させていただきます。
- 深田委員長 今回、温泉事業とこちらの商工会の事業費、温泉事業費と合わさっていませんよね。観光費のほうは1,872万円が観光課のほう、観光交流課のほうで、温泉事業費の6,831万円、特別会計繰出金は、温泉事業のほうで質疑応答をしたほうがいいのかな

と思いますけど、それを確認したいのと、今、川島委員からお話がありました具体的な誘客方法の中で、黒潮温泉の宣伝をPRするというけど、今、故障しているのに、黒潮温泉のことも故障していますよというのをPRするのか、焼津にある黒潮温泉のことをPRしていくか、その辺のことがちょっと気になったものですから、教えていただきたいと思います。

○石原観光交流課長 温泉事業は、今回の補正予算の調査費ですとか、いろんな費用をこの後説明しますが、そちらはまたそこで御質疑いただければと思いますけれども、誘客事業のことについては、当然、黒潮温泉が直るという前提で、直った後で実施するというふうに考えております。決して、今、壊れていますという宣伝をするわけではありません。

○深田委員長 わかりました。

旅行雑誌とかインターネットのPRは直った後ということで、そうすると、1,872万円の、最初に聞くべきことなんですけど、内訳というのはどういうふうになっているのか。インターネットで幾らなのか、雑誌に幾らなのか、何社ぐらいの雑誌に計画しているのか、これをいつごろからPRしようとするのか、4点お聞きしたいと思います。

○石原観光交流課長 誘客の内訳でございますけれども、今考えてございますのが、雑誌媒体等に400万円、それから、インターネット関係で1,472万円ほどで考えていますけど、そこは若干、弾力的な運用をさせていただければというふうに思っております。

○深田委員長 そうしますと、直るのがことしの秋か、冬か、1年かかるかどうか、半年なのかというのはちょっと見通しが見えないんですけれども、この6月の時点で補正予算を組んでおかないと、その準備ができないということではよろしいでしょうか。直った後に出すよということだったら、9月ぐらいでもいいのかな。やっぱり急ぐ必要性というのをちょっとお聞きしたくて。

○石原観光交流課長 1つは、壊れていないほうの井戸の50号井の温泉の活用を今、考えてございまして、そちらを供給することで黒潮温泉の利用を再開できるということが1つ考えられます。

それから、もう一つは、1号の井戸の修繕ですけれども、こちらもちょうとまだ現状、いつとはっきり申し上げられないんですけれども、場合によっては比較的短期で直るといっても想定されますので、そうしたときにその場合にもう7月、8月からPRを打っていきこうということになる可能性もございまして、今回、補正をお願いしておるものでございます。

○深田委員長 以上です。

○松島副委員長 じゃ、交代させていただきます。

○太田委員 サンライフは、循環の加熱の施設がないの。

○深田委員長 太田委員、サンライフは、建設経済のほうなんですけど。

○太田委員 ただ、温泉を運ぶのはこっちでしょう。温泉を運んでいるんでしょう。サンライフへ温泉を運んで、サンライフはどういう処置しているのか。運んでいないということでしょう。

○石原観光交流課長 サンライフについては、私どもが聞いているのは、加熱する能力施設がないということで、今回はサンライフのほうに熱海温泉は運んでございません。浴

場については営業停止をしている状態となります。

○太田委員 井戸も関係ないんですね。

○深田委員長 井戸。

○太田委員 温泉のほうで。

○深田委員長 特別会計のほうで。

質疑・意見を打ち切り、討論を許す。(なし)

◇採決の結果、議第57号「平成30年度焼津市一般会計補正予算(第3号)案」中、当委員会所管部分は全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

○深田委員長 議第58号「平成30年度焼津市温泉事業特別会計補正予算(第1号)案」を議題とし、当局の説明を求める。

(当局説明)

○深田委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。

○太田委員 2点ほど。とりあえず、高草1号井のデータをお話しいただきたいと思えます。多分調査をかけていて、先ほども直るかどうかわからない、直るのが不測に治る場合もあるというお話をしましたが、その経過をお知らせいただきたいなど。

それから、もう一つ、高草の50号井の関係でどの程度カバーできるのか、それをちょっと教えていただけるとありがたいです。

○石原観光交流課長 まず、高草1号井の状況でございますけれども、本日現在、こうしたら直るという方法がまだ確定している状況ではございません。井戸の中が100メートルぐらいまでのところのカメラ調査を実施してございまして、その中で3カ所ほどの亀裂と思われる箇所を確認してございます。そちらのほうを今、どういった修繕方法ができるかということで、検討、それから実験をさせていただいているところでございます。めどにつきましては、申しわけございませんが、本日現在、いつということはちょっとお答えできないような状況であります。

それから、50号井でございますけれども、50号井が従前、およそ全体の3分の1から4分の1ぐらいを50号井でカバーしていった状況でございますので、湯量としては50号井だけで従来使っていた燃料を賄えるものではございませんので、そちらを供給しながら、必要に応じて加水もしながら営業していただくというふうに考えてございます。

以上です。

○太田委員 トン数は。

○石原観光交流課長 日量大体100トン前後、50号井のほうから湧出してございます。

○太田委員 100トンも出ればカバーできないの。

○石原観光交流課長 故障前が市内の全施設で大体300トンほど日常使ってございました、使用量として。今回、50号のほうで大体100トンということでございますので、サンライフと、それから、駅前の足湯は休止している状態ではございますけれども、若干、従来の使い方に戻すには足りないかなということで、少し加水等を検討していただいているところでございます。

- 太田委員 当然、1号井がどうなるかわからない状況の中で、新規につくるような話を市長おっしゃっていたんだけど、その辺は計画は組んでいるんですか。
- 石原観光交流課長 1号のほうは直らないというわけではなくて、直す可能性も十分あるわけですが、もし仮に直ったといたしましても、2本とも井戸が少し、もう30年以上たっているということで、またいつ壊れてもおかしくない状況に入ってきているかなというふうに思っていますので、新しい井戸の掘削についても今検討しているところでございます。
- 太田委員 わかりました。
- 松島副委員長 今回のこの件に関しましては、議会のほうの一般質問、あるいは、先ほどの説明の中でいろいろあるなど。市長からは先ほど補正予算の提案理由というところの中で、この件に関して掘削可能性調査というようなことも聞いているということなんですが、私は、今回のこの件に関しましては、ピンチはチャンスという表現をさせていただきたいと思うんですが、今までマス媒体に公表していなかったこういった井戸の問題というのが出ることによって、あっ、焼津にも温泉が出るんだねということを知っている方もいるようです。これはいろいろフェイスブックで出たものに対する反応を、遠方向にいる私の友人なんかも言っていたんですけど、焼津に温泉というのは印象としてなかったよということが、これが1つのPR効果にもなっている中で、今、なった後にこういう誘客事業もやっていくということなんですが、現状をある程度、正直に話をしたら、こういうふうなことを方向性考えていますということもPRの1つにはなってくるんじゃないかなというふうに思います。それは私の考えなんですが、現状、この湯がとまっていることに関して、いわゆる観光の交流という部分で考えたときに、入り込み客数がある程度減っているのかなという感じがするんですが、どの程度影響しているのかなということをお聞きしたいなと思います。
- 石原観光交流課長 お客様の減につきましては、少し施設側からそういったお話も聞いておりますけれども、具体的な数値としてはうちのほうでちょっと取りまとめている状況ではございません。ただ、実際、5月、故障して、それが報道された直後は、かなり監査も入ったということもございまして、あと、宿泊施設じゃないエキチカさんなんか前月比、それから前年度比みたいな中で少し客足が減っているみたいなお話もいただいているところでございます。
- 松島副委員長 実態として、この源泉を利用している施設という部分では限られた施設なものですから、全体として見たときにどうかなということの捉え方は大きな影響があるのかどうかというと、私もちょっとどうなのかなと思ったんですけど、やっぱり一部ではお客さんが減っているよということもあるということなんですが、このピンチを乗り越えた後、どっとお客様が倍返しということ大変ですけど、たくさん来てくれるようなことというのを積極的な考え方をすることが必要だなというふうに思います。その中では、新設の井戸の掘削可能性調査、ありますけれども、これからもっと施設がふえてくる、たくさんのお客様が来ても大丈夫なように対策を立てた上での計画になっていけばいいかなというふうに思います。

以上です。

- 深田委員長 副委員長、進行を交代してください。

○松島副委員長 委員長を交代いたします。

○深田委員長 基本的なところ、最初に6,183万6,000円の事業費、管理費の内訳、先ほど運搬費用と掘削可能性調査費用と早期修繕費用、この3種類が挙げられたと思うんですけども、それ以外にあれば、それぞれの6,183万6,000円の内訳をお聞きしたいのと、先ほど来お話のある運搬されているのはどこの事業者なのか。どうやってその事業者、入札で決めたのか、それとも、もう運搬会社はそこしかないよとか、その経緯というのがちょっとわからないので教えていただきたいのと、掘削可能性調査というのはどのように行うのか、入札で業者を決めて専門事業者を決めて行うのか、それとも、従来の何か随意契約というふうなことなのか、もう一つは早期に修繕するための修繕のこの費用もどのような入札でやっていくのか、それとも随意契約でやっていくのか、随意契約でやるんだったらどういふ会社に依頼を考えているのか、その辺のことを教えてください。

○石原観光交流課長 まず、今回の予算の内訳でございますけれども、まず1点目、熱海温泉の運搬につきまして1,165万9,000円を見込んでございます。これは、3カ月分一応見込んでございまして、9月定例会までということできりあえず計上させていただいております。

それから、高草1号の修繕関係で調査と修繕で2,721万7,000円を見込んでございます。それから、新しい井戸の調査の関係で2,296万円。

次に、一般事業者の選定の経過でございますけれども、こちらは、私のほうでもいろいろインターネットで調べたりして、そういった運搬ができる事業者を探していたんですけども、なかなか皆さん、既に持っている仕事があって、わざわざ焼津まで温泉を持ってくることはできないよというようなお話が多くて困っていたところ、今回お願いしているのは、沼津市にある誠商事という会社でございまして、伊豆のほうで運搬を、自社温泉も持っていて、いろんな温泉運搬事業をやっていたりですとか、東京なんかにも運んでいる、そういった事業者でございますけれども、そちらの社長さんからたまたま同じ県内で新聞で見たんだけど、温泉で手伝えることはないということできりあえてお声をいただきまして、すぐお会いする中で、そちらの会社ももう日中仕事いっぱいなんですけれども、今回、焼津のほうをぜひ助けたいということで、既存の仕事をやりくりしていただいて、焼津に来るのがもう夕方とか夜になるのも含めて、対応していただいているということで、こちらは申しわけございませんけど、随意契約できりあらせていただいております。

それから、今後の修繕、それから、井戸の可能性調査につきましては、もともと井戸を持っているのが東海ガスということでございますので、ガスの噴出を扱うということもございまして、こちらは東海ガスさんのほうにお願いをございまして、可能性調査につきましても過去に東海ガスさんがいろいろたくさん井戸を掘ってきた経緯もございまして、文献等も残っているということもございまして、今のところ、東海ガスさんをお願いできればというふうには考えております。

以上です。

○深田委員長 金額について、高いとか安いとかという基準がわからないんですけども、その辺のことについてはどうなんでしょうか。

○石原観光交流課長 熱海温泉の運搬は1日当たり約9万円でございます。これは、温泉

そのものを熱海までくみに行き、焼津まで持ってきてもらう交通費、それから、車のタンクローリーの利用料、高速代等も含めて、そういったことを考えると、そんなに高くないというか、むしろほとんど利益がないような状態でやられているのかなというふうに思っています。車2台で大型車2台で、人も2人とか、3人とか来ていただいている状態ですので。そんなそれが高いか安いと言われると、ちょっと難しいんですけど、そんな費用でございます。

それから、調査費のほうにつきましても、調査修繕につきましても、東海ガスさんと話をしながら、修繕方法をまだ確立しているわけじゃないものから、あくまでも今回、早期に対応するためある程度見込みで計上させていただいているところがございまして、2,700万円なんですけど、その範囲内で納まるようなところになればいいかなというふうに思っているところです。

可能性調査につきましても、いろんな電気ですとか、電波とかを使いながら、地中を探査するようなそんな方法を想定してございますけれども、なかなかちょっと高いか安いというのは難しいところなものですから、我々としては妥当な金額だということで計上はさせていただいているつもりです。

- 深田委員長 熱海温泉の運搬については、この会社のほうが新聞を見てお声をかけていただけたということは、もしその会社がなかったら、今どうなっていたのかということがあるので、すごい助かったことだなということで感謝をしたいと思います、ありがとうございます。

そして、掘削調査と修繕費用については東海ガスさんということになるんですけど、やっぱりほかのまちでもそういう同じ事例が起こっているところもあると思うんですね。東海ガスさんと随意契約だと、本当に高いかなんて基準がわからないものですから、もう少し他市のこういう調査費用というか、修繕費用についてもあわせて調査をしていただくことを要望したいと思います。

以上です。

- 松島副委員長 委員長を交代させていただきます。
- 深田委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。(なし)

◇採決の結果、議第58号「平成30年度焼津市温泉事業特別会計補正予算(第1号)案」は全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

- 深田委員長 以上で当委員会に付託されていた議案の審査は終了した。

これで総務文教常任委員会を閉会とする。

閉会(10:08)